

令和3年度事業計画

- 1 今年度は、農林水産省の助成を得て農研機構で開発された「超極細・高染色性生糸」のビジネス化を進めるため、生産体制の整備・確立と当該シルクの特性を活かした絹製品の市場調査の事業を各分科会が協力して取り組む。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年開催できなかった会員相互の交流の場としてネットワーク交流会についても新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ開催に努める。

- 2 各分科会においては、次の取組みを行う。

- (1) PR分科会

新たに開設する協議会のホームページを活用し、国産シルクについての情報発信を積極的に行うとともに、国の助成を受けて進めている今年度の事業の状況をはじめ本協議会の活動紹介や、会員間の交流の場の提供等を行う。

- (2) 蚕糸分科会

農水省と協力して若手養蚕農家の情報交換会を開催し、若手養蚕農家のネットワーク化を進める。また、蚕種業者や稚蚕飼育関係者等養蚕関係事業者と情報交換を行い、国内養蚕業の維持・継続にための方策を検討する。

- (3) 新機能シルク分科会

「超極細・高染色性生糸」のビジネス化に向け、国の茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業を通じて養蚕農家への技術支援や環境整備を行う。また、国産シルクの新たな需要を創出するため、新たな機能を付与した新機能シルクの開発を進める。

- (4) 繊維分科会

農水省の助成を得て「超極細・高染色性生糸」の特性を活かした絹製品の開図・製品化を図るとともに、製品化に向けた市場調査等を行う。

- (5) 新用途分科会

シルクフィブロインおよびシルクセリシンにおける多用途展開を継続的に進める。特に医療、食品、化粧品、一般工業製品におけるシルク素材のニーズを抽出することで、新素材、新製品の提案に繋げる。また開発品を社会実装に繋げるための施策を進める。